

	実施設計について	管理運営について	その他
1	<p>2階1番前の座席に座った時、足の置き場にゆとりを持ってほしい。</p> <p>トイレ数（男）が少ないのではないかと。休憩10分の中で全員用を済ませるのかどうか。</p> <p>座席数について・・・最近のイベントでは、映像モニターなどの機器を座席の一部に専有して有効座席が減っている。機器を座席に置かないようなスペースを持ってほしい。</p>	<p>観覧予約をする場合、窓口が部分エリアしか扱っておらず、いざ観覧に行くと、相当座席に空きがあることがある。一元管理していただきたい。</p>	<p>市民ホールから駅まで、イベント終了後の混雑・渋滞について、スムーズに通行できるよう道路計画を組んでほしい。</p> <p>新・旧の会館・ホールの広さなどの比較表を公表して下さい。（恒例の第九は同様に聞けますか？）（オペラの上演はできますか？）</p> <p>伝統あるオーケストラ団体の発表会を数多く開いてほしい。</p> <p>工事の進捗状況の見学会をお願いしたい。（特に地下工事）</p>
2	<p>耐震性能をしっかりと高めて下さい。</p> <p>高齢者増加不可避なのでバリアフリー対策のみです。</p> <p>屋外緑化、花などもしっかりと管理して環境整備して、ホームレスの住処にならぬように。</p>	<p>小田原市プロパーの館長を立てる事が必要。</p> <p>しかし、管理運営+集客のできる事が必須。</p> <p>早く外部のサポートから卒業できるよう、市民のサポートは必要だが、館長のリーダーシップが先ずなければいけない。人選、教育をしっかりと欲しい。</p>	<p>整備推進委員会の方々がモノを言いすぎ。あまり外部依存しないように市のスタッフの自立を望みます。</p>
3	<p>プロポーザル後、かなり専門家+市民の要望を採り入れた、変更が施され、満足できる内容の実施設計となり、待った甲斐があったと思います。</p> <p>開館が楽しみです。</p> <p>ただ一つ懸念されるのは、客席位置による聞こえ方の違いです。提出された色付きのシミュレーション図を見ても、ムラがあります。特に合唱は聞く位置によって聞こえ方が異なりやすいので、コンクール（学校の）での使用も考慮し、客席の音の均質化にご尽力いただきたいです。</p>	<p>東京文化会館の梶委員が入っていることで市民がさまざまな芸術に触れる機会がありそうなのは楽しみです。</p> <p>FMおだわらの委員さんもエネルギーでいいですね。市民参加型の事業や興業事業のノウハウと実績を持ち合わせていらっしゃるのですね。</p> <p>青少年の交流事業を期待している。（地域的な学びと出会いがある文化サークルやイベントなど）</p> <p>さまざまな年齢の小田原市民も整備推進委員会に入れた方がいいと思います。</p> <p>市民人材の活用すべきと思う。市職員にも専門知識を持たせてほしい。</p> <p>何から何まで外部コンサルに頼るので、経費がとてめにかかる。話に距離感を感じる。</p>	<p>にぎわい廊は、現在ある城址公園の二の丸広場と重複するので、利用者用駐車場にすべきと思う。（主催者、障がいを持った方や高齢者のための。展示やワークショップなどの市民活動を充実させるには、荷物を持った人のための駐車場がもっと必要になるのでは？）</p> <p>観光案内所を大ホールホワイエに作れば済むのに。</p> <p>にぎわい廊ができたのは寝耳のみずである、不要だ。必要であることへの説明が不十分だと思う。</p> <p>ヤンキーのたまり場になる可能性も否めないなので要対策。</p> <p>自由な野外ステージの場としては意義があるが。</p> <p>飲食、物販は駅付近に新しくできるビルにもある。民業圧迫にならないか？</p>